



たけだまさみつ 千葉県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

児童虐待の再発防止を求め!



2月議会壇上に立つ武田県議

2月県議会一般質問に登壇

流山市選出で自民党中堅議員の地位を固める武田正光(たけだ・まさみつ)県議は、2月定例県議会の一一般質問に登壇し、野田市で発生した幼女虐待死亡事件を真つ先に取り上げ、児童相談所の体制強化への新たな取り組みについて質問しました。武田議員は、自ら「子どもを虐待から守る条例」の制定に力を入れてきただけに、再発防止に向けて児童相談所と警察の一層の連携強化を求めました。つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進展や、県立市野谷の森公園の整備状況、防災意識の向上など、地域の暮らしの視点に立った武田県議の質疑を特集しました。

武田議員 野 より、平成28年12月に「子どもを虐待から守る条例」を制定しています。私自身、わが党の児童虐待防止対策プロジェクトチームの座長として、児童虐待問題については、県議会でもたびたび取り上げてきましたが、地元流山市を管轄する柏児童

相談所管内でこのような事件が発生し、残念でなりません。そこで伺います。児童相談所の体制強化について、来年度どのように取り組むのか。

森田知事 県では、児童虐待対応件数の増加に適切に対応するため、平成29年度以降、児童相談所職員の計画的な増員に取り組んでいるところであり、平成31年度は35名の増員を見込んでいます。

これに加え、人口及び虐待件数の多い都市部の児童相談所において、グループリーダーの配置など、ケースワーカー業務の専門性をより高めるための組織見直しを行うとともに、非常勤弁護士や警察OBを全児童相談所に配置し、法的措置を見据えたケース対応能力の向上を図ることにしています。

弁護士や警察OBを見相に配置

警察と密接に連携

武田議員 私が重視したのは、児童相談所と警察の連携です。いまや虐待通告の約半数が警察からであり、保護者への対応の中で警察の援助が必要なケースも増えていると聞いています。

児童相談所と警察の更なる連携強化が必要と思うがどうか。

健康福祉部長 児童相談所が行う児童虐待への対応は、警察と密接に連携していくことが重要だと考えています。このため、平成29年5月に、警察との間で情報共有のルールを明文化した協定を締結しているところ

土地区画整理事業の進捗状況

武田議員 つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業のうち、木地区の進捗状況と今後の取り組みはどうか。

都市整備局長 木地区は、地区の大部分の整備が完了し、現在、緑辺部の整備を一部残すのみとなっております。平成30年度末の進捗率は、事業費ベース、面積ベースとも95%になる見込みです。

武田議員 運動公園周辺地区の事業計画の見直し状況はどうか。

都市整備局長 運動公園周辺地区は、地元流山市からの「さらなる緑地保全」の要望を受け、具体的に保全可能な範囲などの検討を進め、現在、これによる土地利用計画の見直しに關し、流山市と最終的な調整を行っているところです。

武田議員 都市軌道路整備

備について、県内の土地区画整理事業内の進捗はどうか。

都市整備局長 都市軌道路の土地区画整理事業内の区間は、約5・7キロであり、今年度末には約5キロが供用になります。残る700メートルの区間は、県が施工している柏北部中央地区にあり、最も工期を要する国道16号のアンダーパス部について、昨年末に工事に着手したところです。

要望 木地区については、残り2年半で確実に事業を完了していただき、その分のマンパワーを運動公園周辺地区に向けていただきたい。

運動公園周辺地区の地権者は、不安と不満を持っていることから、顔を出すことが大事です。地権者との信頼をしっかりと繋げてい

ですが、連携強化のため、対象範囲の拡大に向け、現在協議を進めているところです。今後は、検証委員会での検証状況も踏まえつつ、子どもの安全確保の観点から、警察と緊密に連携し、虐待対応力の一層の強化を図ってまいります。

要望 児童相談所の質量とも拡充は、これまでも知事等に説明していただいているところですが、一つの組織だけではとても対応できないのではないかと考えます。警察組織としっかりと連携をとってほしい。

くことが一番のスピード化につながっていくと思っておりますので、よろしくお願

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

たけだ正光 県議事務所

〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
TEL.04-7159-0518
FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 検索

<http://www.takeda-hashiru.com>

地域の暮らしを守る県政実現!

整備進捗率83%



再質問で要望を語る武田県議

武田議員 流山市のほぼ中心に位置する市野谷の森公園、通称オオタカの森は、オオタカをはじめとする多様な動植物を保全し、住民が身近な自然とふれあひ、やすらぎを得る場として計画されました。県立市野谷の森公園1期区域の整備の進捗状況及び今後の見通しはどうか。

見通しです。平成31年度からは、公園の中心的な施設となる自然観察舎の建築工事に着手する予定です。今後とも、地元の理解を得ながら、早期完成に向けて事業を進めてまいります。また、県民の皆様にも早く公園を利用していただけるよう、

三郷流山橋の工事

都市整備局長 市野谷の森公園は、住民が身近な自然とふれあう場として、樹林地の活用を図っていくことを基本理念としており、現在、1期区域の約3・7ヘクタールの整備を進めています。今年度末には、水辺の空間を創り出す修景池が概ね完成する予定であり、事業費への進捗率は約83%となる

武田議員 (仮称)三郷流山橋の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 (仮称) 三郷流山橋は、市街化の著しい東葛飾地域と埼玉県東部地域を結び、流山橋に集中している交通を分散させる重要な橋梁であり、千葉

武田議員 (仮称)三郷流山橋の進捗状況と今後の見通しはどうか。

今年度、千葉県側の用地取得率は面積ベースで94%となり、橋脚工事に着手したところであります。また、平成31年度からは一般道路事業に加え、有料道路事業に着手し、事業の促進を図ることとしています。

学力向上の課題分析

武田議員 全国の学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、成果と課題を検証し、改善を図る目的で実施すると聞いています。平成30年度の調査では、本県の国語、算数・数学の結果は、全国平均を若

干下回るものの、概ね全国平均程度とのことですが、課題のみならず、その原因もしっかりと分析していくことが重要だと思います。本県小中学校の学力に係る課題について、県教育委員会として原因分析はどうか。

澤川教育長 全国学力・学習状況調査の結果は、算数・数学の知識に関する問題、いわゆるA問題が継続的に全国平均を下回っており、また、国語、算数・数学に共通して、記述式問題の正答率が低いことが課題と考えています。

これらの原因について、市町村教育委員会や学校等と意見交換を行ったところ、いわゆるA問題については、例えば、授業中、練習問題を解く活動に時間が割かれてしまい、なぜ公式がそのようになっているかなど、算数・数学の基礎的な理解が十分得られていないことなどが挙げられています。

また、記述式問題については、例えば、問題に対する答えを文章で記述する活動が少ないことや、出題の意図を踏まえて端的にまとめる力が身に付いていないことなどが挙げられます。

市野谷の森公園 は、平成27年5月に「県立市野谷の森の早期実現を求める署名」1万5千名を超える署名を千葉県に提出しています。それだけ大きな声があるので、引き続きよろしく願います。1日も早い整備を望みます。

今後とも、埼玉県や地元流山市と連携を図りながら、平成34年度の完成を目指し、整備を促進してまいります。

有料道路事業の活用により、2022年度完成というところで、これを実績とすべく、ついついの工事を積み上げていきたいと思います。また、千葉県側から見、橋を渡ったところまでは共同で仕事をしていますが、そこから先の道路は埼玉県が施工しなければならぬので、埼玉県側の道路整備について、埼玉県へ働きかけるところを要望します。

今後とも、埼玉県や地元流山市と連携を図りながら、平成34年度の完成を目指し、整備を促進してまいります。

今年度、県が実施した「県政に関する世論調査」によれば、水や食料を備蓄している県民の割合は83・1%で、昨年度と比べて6・0ポイントの上昇。また、家具を固定している県民の割合は59・45%で、同じく1・6ポイントの上昇という状況になっています。

災害から身を守る県民意識を!

武田議員 次に防災意識の向上について伺います。わが国は、繰り返し地震や風水害等の災害に見舞われており、昨年1年間だけでも大阪北部地震、西日本豪雨などの災害が発生し、多くの人的・物的被害が生じました。

合には、行政による「公助」の限界も指摘されており、災害を「他人事」ではなく、県民一人ひとりが防災意識を高め、自分の命を守るための行動がますます重要になってきています。そこで伺います。県民の防災に対する意識の現状はどうか。

本年度、県が実施した「県政に関する世論調査」によれば、水や食料を備蓄している県民の割合は83・1%で、昨年度と比べて6・0ポイントの上昇。また、家具を固定している県民の割合は59・45%で、同じく1・6ポイントの上昇という状況になっています。

本年度、県が実施した「県政に関する世論調査」によれば、水や食料を備蓄している県民の割合は83・1%で、昨年度と比べて6・0ポイントの上昇。また、家具を固定している県民の割合は59・45%で、同じく1・6ポイントの上昇という状況になっています。

自然観察舎工事に着手

市野谷の森公園

今年度末には、水辺の空間を創り出す修景池が概ね完成する予定であり、事業費への進捗率は約83%となる

武田議員 (仮称)三郷流山橋の進捗状況と今後の見通しはどうか。

今年度、千葉県側の用地取得率は面積ベースで94%となり、橋脚工事に着手したところであります。また、平成31年度からは一般道路事業に加え、有料道路事業に着手し、事業の促進を図ることとしています。

武田議員 全国の学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、成果と課題を検証し、改善を図る目的で実施すると聞いています。平成30年度の調査では、本県の国語、算数・数学の結果は、全国平均を若

干下回るものの、概ね全国平均程度とのことですが、課題のみならず、その原因もしっかりと分析していくことが重要だと思います。本県小中学校の学力に係る課題について、県教育委員会として原因分析はどうか。

これらの原因について、市町村教育委員会や学校等と意見交換を行ったところ、いわゆるA問題については、例えば、授業中、練習問題を解く活動に時間が割かれてしまい、なぜ公式がそのようになっているかなど、算数・数学の基礎的な理解が十分得られていないことなどが挙げられています。

また、記述式問題については、例えば、問題に対する答えを文章で記述する活動が少ないことや、出題の意図を踏まえて端的にまとめる力が身に付いていないことなどが挙げられます。

たけだ正光県議 プロフィール

- 経 歴**
- ・S44 8月9日生まれ
 - ・S57 流山市立八木南小卒業
 - ・S60 流山市立八木中卒業
 - ・S63 専修大学松戸高校卒業
 - ・H4 中央大学商学部卒業 公認会計士
 - ・H19 千葉県議会議員選挙初当選
 - ・H23 2期目当選県土整備常任委員会委員長
 - ・H25、26 環境生活警察常任委員会委員長
 - ・H27 3期目当選
 - ・H30 予算委員会副委員長
 - ・H31 4期目当選
- 現 職**
- 自民党千葉県連 副幹事長
 - ちば自民党青年局長
 - 児童虐待防止対策プロジェクトチーム座長